

令和8年熊本地震への経済産業省の対応（8月9日（日）時点）

1. エネルギー・インフラの状況

	状況
電力	熊本県で約4.9万戸の停電が発生。高圧線に加え低圧線も停電は復旧済み。 引込線を原因とする停電は、連絡いただき次第、原則当日の解消を目指す。（九州電力送配電が24時間体制の相談窓口を設置。九州電力送配電及び電気工事業者が連携して対応する体制を構築。）相談窓口について、避難所で周知するとともに、順次、状況を確認し各戸に掲示・投函。
発電所	火力発電所※1・原子力発電所※2ともに、運転継続中。 ※1：九電・電源開発保有の発電所、※2：川内①②号機・玄海④号機
都市ガス	都市ガス 八代市で約8,900戸供給停止のうち、約5,300戸で供給再開済。 市街地北部区域（約3,000戸）：約2,800戸で供給再開済。 ※残りは、液状化により導管の損傷個所が多い区域の約200戸と家屋倒壊の7戸。 市街地南部区域（約5,900戸）：約2,500戸で供給再開済。 順次供給再開を進め、家屋倒壊及び液状化の深刻な区域を除き、北部の残る区域及び南部区域中部は週明け、南部の残る区域は来週中に概ね復旧する見通し。 事業者にて、要請のあった病院や避難所への移動式ガス発生装置の配備を実施。希望されるご家庭にはカセットコンロを配布。
SS (ガソリンスタンド)	営業中67（被害の大きかった八代市、宇城市、氷川町のガソリンスタンド73か所の9割超。）復旧見込み：①人員確保後1か所、②8/15頃まで2か所、③数か月以上3か所 上記の他、震度6弱以上を記録した13市町村（熊本市、合志市、上天草市、宇土市等 計250か所）については、営業中248、営業不可2 八代市の出荷基地を活用するなど、通常時の最大4倍程度の供給力を確保。

2. 物資支援

- 被害の大きかった八代市・宇城市・宇土市・氷川町で9割以上のコンビニ（95店舗/100店舗）が営業。当該4市町等の被災地域の物量改善に向け、優先的な迂回ルート等をコンビニ各社に伝達し、活用開始。県内全体787店舗中、休業店舗数は、29日（水）時点：211店舗 ⇒ 7日（金）9時時点：7店舗（前日同）。
- 業務用エアコンは13か所要請、うち8か所で設置済、さらに4か所で設置中、1か所で調査中。循環型シャワー（WOTA）は84台設置済。
仮設・簡易トイレや段ボールベッド、熱中症対策用品、衛生用品、ブルーシート等も順次熊本の物流拠点に到着。大手物流会社による配送支援もトラック最大24台まで拡充

3. 中小企業・小規模事業者への支援

- ◆ 災害救助法の適用
（熊本県10市10町1村に適用） ◆ 相談窓口（20か所）を設置
◆ 資金繰り支援等*を実施
* ①災害復旧貸付等の実施、②セーフティネット保証4号（100%保証）の適用、③既往債務の返済条件緩和等の対応、④小規模企業共済災害貸付の適用
- ◆ 中小企業分野の局地激甚災害の指定（熊本県御船町）について、7日（金）に総理より見込み公表。

4. サプライチェーンの状況

- 一部の半導体関連工場では、設備等の確認・点検のため操業を停止していたが、TSMC熊本や三菱電機、ルネサスなど、稼働を再開している工場も増加。
- 一部の自動車部品工場において、設備等に被害が発生し操業を停止していたが、アイシン九州は8/2から一部部品の生産を再開。
一部の完成車メーカー（OEM）では、部品メーカーの被害状況の確認等を優先し、生産を一部停止（8/8～8/16自動車メーカーはお盆休みのため非稼働）。

※ 9日（日）時点で、経産省本省13名・経産局7名・産業保安監督部3名、合計23名を熊本県庁・市町の現場へ派遣。

国土交通省(現地対策本部)からの報告

■インフラ復旧 OTEC-FORCEの活動

- ・全国から国土交通省TEC—FORCEが集結し、被災状況調査や、給水・トイレ及び電源支援等の災害対策機械による応急対策の技術支援を実施。
- ・令和8年8月9日は、宇土市、氷川町など5市町において約180人が給水支援や被災状況調査などの活動を実施中。
- ・令和8年7月28日の被災直後から、6市4町のべ約2,600人・日で活動を展開(リエゾン等含む)

被災状況調査

▼ヘリによる上空からの被災状況調査及び映像の提供



▼橋梁の被災状況調査



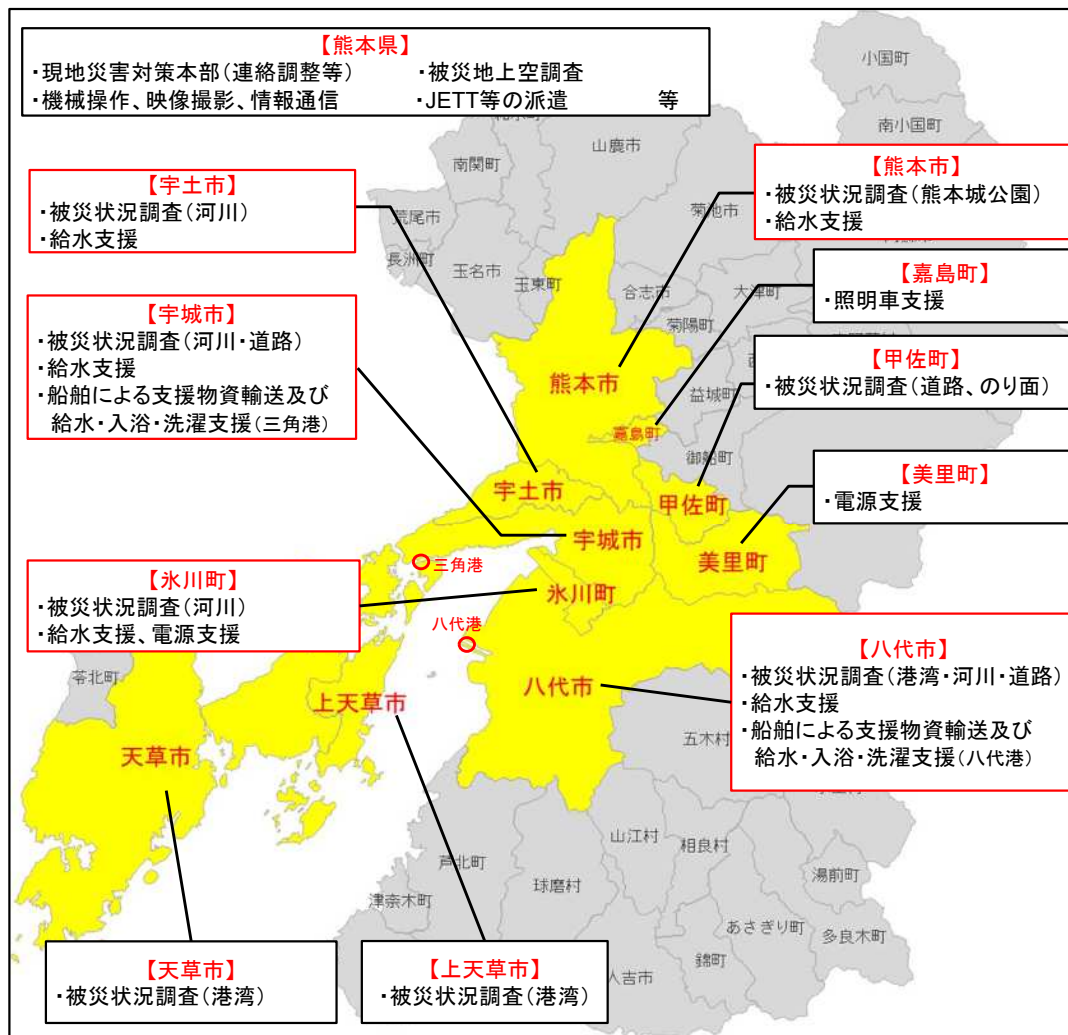
▼河川護岸の被災状況調査



▼岸壁背後の被災状況調査



▼ドローンによる被災状況調査



令和8年8月8日現在:のべ約2,600人・日

被災者支援

▼断水発生による給水支援



▼防災用コンテナ型トイレの派遣



▼ボランティアセンターへ対策本部車を提供



▼照明車による人命救助活動の支援



▼電力復旧までの電源支援



○インフラ施設の復旧(河川、道路、港湾、上下水道など)

(1)道路

・高速道路

(E3九州道)

- ・松橋IC～えびのIC間は、一般車両通行不可
- ・ただし、松橋IC～八代IC間、坂本PA～えびのICは、緊急車両のみ通行可能
(本日9時、宮原SA～八代IC間で新たに緊急車両のみ通行可能となった)
- ・また、8月9日の週にはE3九州道全線で緊急車両の通行が可能となる見込み。
- ・さらに、8月後半にはE3九州道全線で一般車両の通行が可能となる見込み。

(E3A南九州道) ※NEXCO管理:八代JCT～日奈久IC、国管理:日奈久IC～田浦IC

- ・八代JCT～田浦IC間は、一般車両通行不可
 - ・ただし、八代南IC～田浦IC間は、緊急車両のみ通行可能
 - ・また、8月後半には八代南IC～田浦IC間で一般車両の通行が可能となる見込み。
- ・直轄国道(直轄高速除く)
 - ・被災による通行止め:なし

(2)河川

- ・国管理河川では点検が完了し、3水系 8河川※91箇所ですべての堤防天端のクラックなどの被害を確認。
- ・堤防の沈下や亀裂、はらみ出し等が生じた球磨川の堤防3箇所ですべて緊急災害復旧工事に着手。比較的損傷が軽微な88箇所(白川3箇所、緑川44箇所、球磨川41箇所)も順次応急復旧工事に着手。
- ・8月7日を以て、対象全91箇所について、応急復旧完了。

(3)港湾

- ・八代港では、地震動による岸壁の変位及び液状化による噴砂や、沈下等が発生。
- ・耐震強化岸壁については7月29日に応急復旧を行い、コンテナ岸壁は7月30日に港湾空港技術研究所等の調査官の助言を得て利用可能と判断。
- ・その後も現地調査結果を踏まえた利用可否判断を順次行い、現在、八代港外港地区は5バースの利用が可能。
- ・各利用可能な岸壁に、海上保安庁や海上自衛隊、港湾局等の船舶が支援物資の輸送、給水、入浴等の支援を実施

○インフラ施設の復旧(河川、道路、港湾、上下水道など)

(4) 上下水道

- ・8月末の断水解消に向け、上下水道の応急復旧に全力で取り組む。
- ・毎日10時時点で応急復旧状況を更新(国交省HP)

※避難所、医療機関、福祉施設等の重要施設につながる管路については、上下水道一体で優先的に復旧を図る

水道

- ・発災後、最大約108,000戸が断水する状況。
- ・国土交通省及び日本水道協会より水道技術者を全国から派遣し、点検・応急復旧作業を実施中。

8/9 10:00時点、断水戸数は約34,800戸

(八代市、宇城市、氷川町)

- ・今後の復旧の見込みは以下の通り

※記載地域以外の断水は解消。

市町村	地区	断水解消見込み
八代市	旧八代市地区	8月末
	鏡町・千丁町	8月末
宇城市	松橋地区	8月末
	小川地区	8月末
	豊野地区	8月末
氷川町	桜ヶ丘地区・立神地区	解消
	その他の地区	8月末

下水道

- ・国土交通省、全国の自治体※、日本下水道事業団より下水道技術者を派遣し、点検・応急復旧作業を実施。

※日本下水道協会の全国の相互支援ルールに基づき派遣

- ・現在、点検はすべて完了し、2自治体(宇城市、氷川町)において応急復旧作業を実施中。
- ・8/9 10:00時点、作業完了の見込みは以下の通り。
- ・なお、応急復旧作業中の地区においても下水道は使用可能。

市町村	地区	作業完了見込み
宇城市	旧小川町	8月中旬
氷川町	旧竜北町	8月中旬
	旧宮原町	8月中旬

○道路交通マネジメント

- ・ 災害発生時における道路交通の確保と円滑な交通マネジメントの実現のため、関係機関が連携し九州地方整備局が中心となり「熊本県災害時交通マネジメント検討会(令和8年熊本地震)」の第4回会合を8月7日に開催し、「お盆期間中の交通混雑緩和のためのご協力をお願い」を発表
- ・ 8月3日午前7時までに八代鏡宇土線(県道14号)の倒壊建築物の撤去が完了し、同時に国道3号(宇城・八代地域)の迂回路として、交通集中の分散を実施。(迂回路看板により誘導)
- ・ 8月8日朝、国道3号(氷川町大野～八代市岡町中)で8月4日から実施していた『ピンポイント路面改善作戦』が完了
同施工区間において走行速度を改善
- ・ 渋滞対策として、引き続き、道路規制情報、渋滞情報等について、道路情報板、各機関HP、SNS等により提供
- ・ 特に、八代市周辺の交通状況については以下のHPで毎日更新 (国土交通省道路局HP)
https://www.mlit.go.jp/road/road_fr4_000201.html



※平均旅行速度はETC2.0データを活用
出典:地理院地図上に加工して作成

図 令和7年8月12日～17日の平均旅行速度

■被災者支援

○応急給水

- ・「現地応急給水支援本部」において、国土交通省の現地派遣職員が日本水道協会と連携し、自衛隊等による給水活動とも調整しながら、避難所・医療機関に加え、新たに福祉施設などの重要施設における給水ニーズを把握し、優先度を踏まえ応急給水を実施。引き続き、自衛隊の協力や、巡視船等からの給水により、応急給水の量や頻度を向上。
- ・給水車 合計180台(国 18台、日本水道協会 105台、自衛隊 57台)
- ・水資源機構が保有する可搬式浄水装置について設置し、8/4 11:00より稼働開始。



■被災者支援

○船舶等による直接的な給水スポットとしての活動

- ・地方整備局・海上保安庁の船舶による給水・入浴支援の場所・時間等が一目で分かるよう、SNSを活用した情報発信を実施中(毎日更新)。
- ・八代港において、昨日8/8(土)までに約527トン、本日8/9(日)に約30.3トン(12:00時点)の給水支援を実施。
- ・三角港において、昨日8/8(土)までに約363トン、本日8/9(日)に約0.2トンを給水(12:00時点)の給水支援を実施。

○入浴支援

- ・八代港において、8/1(土)から計1,482名への入浴支援を実施。
- ・三角港において、7/30(木)から計617名への入浴支援を実施。



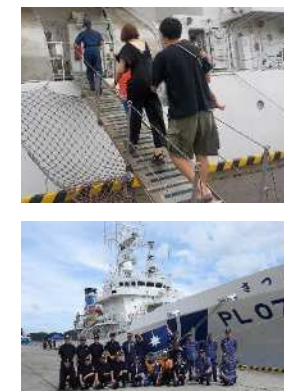
給水支援の様子

(調査観測兼清掃船「海輝」・「海煌」、八代港)



入浴支援の様子

(巡視船「さつま」、三角港)



■被災者支援

○緊急物資輸送

2次輸送(県→市町村の拠点輸送)は県トラック協会が輸送を手配中。3次輸送(市町村→避難所等)については各自治体が運送事業者のサポートも得ながら対応中。

○緊急物資輸送(雨漏り対策支援)

(一社)日本建設業連合会等を通じて、土嚢袋約20万袋を配布済(宇土市・美里町・菊陽町・山都町・八代市・氷川町・上天草市)。

あわせて、ブルーシートについては九州地方整備局と日本建設業連合会九州支社との災害協定に基づき、県・各市町へ累計約19,000枚を配布。



宇城市ブルーシート配送完了(R8.8.5)



宇土市ブルーシート配布状況

○住宅

- ・(独)都市再生機構において、被災者向けの住宅提供として、UR賃貸住宅を全国で140戸確保。8月7日より受付開始。

- ・被災者の住まいの確保に関する情報をとりまとめ、8月7日より国土交通省HPに掲載

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk3_000188.html

(公営住宅等の提供、賃貸型応急住宅の提供、(独)住宅金融支援機構による災害復興住宅融資等、被災住宅の補修等に関する相談窓口、住宅リフォーム事業者等に関する情報)

※ 数値等は全て速報値のため、
今後変更される可能性があります。

令和8年熊本地震に係る災害派遣について

令和8年8月9日
防衛省

概要

- 令和8年7月28日（火）1627頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生。
- 同日（28日）1730、熊本県知事から陸自第8師団長（北熊本・熊本）に対し、情報収集、人命救助、物資輸送、生活支援等に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。
- 昨日（8日）、陸自第8師団を中心とする自衛隊員約5,100名態勢で活動。

昨日 （8日） の 自衛隊の 主な活動

【主な活動部隊等】

陸自第8後方支援連隊（北熊本・熊本）、陸自西部方面特科連隊（北熊本・熊本）、陸自第8高射特科大隊（北熊本・熊本）、陸自第42即応機動連隊（北熊本・熊本）、海自艦艇1隻（げんかい）、空自第8航空団（築城・福岡）、空自西部航空施設隊（芦屋・福岡）、空自西部航空警戒管制団（高畑山・宮崎）等

【輸送活動】

- 陸自第8後方支援連隊等が、福祉施設等へのペットボトル飲料水の輸送を実施。

【給水支援活動】

- 八代市や宇城市をはじめとする市町の計24箇所において、給水車57両により、引き続き給水支援活動を実施。

【入浴支援】

＜宇城市（2箇所）＞

- 海自多用途支援艦「げんかい」、海自呉入浴支援隊
・ 三角港緑地公園の「げんかい」内にて、シャワーと浴槽による入浴支援を、午後3時から午後10時まで実施。「げんかい」内で洗濯支援、健康相談、充電支援を実施。
- 陸自第8後方支援連隊
・ 小川防災拠点センターにて、シャワーによる入浴支援を、午後5時から午後11時まで実施。

＜氷川町（1箇所）＞

- 空自第8航空団、空自西部航空施設隊等
・ 氷川中学校にて、水再生型シャワーによる入浴支援を、午後2時から午後10時まで実施。（男性：1600～1800、2100～2200、女性：1400～1600、1800～2100）

＜宇土市（1箇所）＞

- 陸自第8後方支援連隊
・ 宇土市役所にて、シャワーによる入浴支援を、午後5時から午後11時まで実施。

※ 昨日（8日）、強風等の影響で、熊本市の「火の君文化センター」、「くにさき」及び「はくおうⅡ」を含む八代港での入浴支援は中止しております。

【補助作業】

- 陸自第42即応機動連隊、陸自西部方面特科連隊及び陸自第8高射特科大隊が、八代市及び宇城市において、業者の実施するブルーシート展張作業時の地上における補助作業（ブルーシートを固定するための土のう作成・輸送等）を実施。

【連絡員の派遣状況】

- 熊本県庁等に、最大8箇所・延べ約25名派遣。

活動の様子（8月8日）



福祉施設へペットボトル飲料水を輸送する陸自隊員



【八代市】病院へ給水を行う陸自隊員 ※8/7撮影



【宇城市】海自「げんかい」で海自隊員と利用者との交流 ※8/5撮影



【宇城市】小川防災拠点センターの利用者と陸自隊員 ※8/5撮影



【八代市】ブルーシートを固定する土のうを作成する陸自隊員 ※8/6撮影



【八代市】土のうを運ぶ陸自隊員 ※8/6撮影